

第4弾 多言語版おくすり手帳「ウクライナ語版」を作製 —全国のウクライナ避難民へ無料配布—

共生のまちづくりネットワークよこはま（活動拠点：神奈川県横浜市、代表：飯田信子）は、全国に滞在しているウクライナ避難民の健康管理に役立ててもらうことを目的として、多言語版おくすり手帳「ウクライナ語版」を作製しました。今後、日本に滞在している約2,100人のウクライナ避難民へ、各地域の行政窓口を通じて無料で配布することを予定しています。

それに先立ち、2023年11月6日（月）には、十日市場ケアプラザで開催された横浜YMCAが主催するウクライナ支援活動「MIDORI CLUB」で、11月10日（金）には、公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）が運営するウクライナ交流カフェ「ドゥルーズィ」（横浜国際協力センター5階）で、横浜市内に滞在しているウクライナ避難民の方々に、おくすり手帳をお配りし使い方の説明を行いました。



連絡先：共生のまちづくりネットワークよこはま 「多言語版おくすり手帳普及プロジェクト担当」

事務局：神奈川県横浜市西区高島2丁目14-12 ヨコハマジャスト2号館 3F

(株)大川印刷 横浜営業所 [環境印刷 GREEN PRINTING] 内

プロジェクト担当メールアドレス：okusuri.techo.project@gmail.com

共生のまちづくりネットワークよこはま URL <https://kyomachi-y.sakura.ne.jp/wp/>

【多言語版おくすり手帳】

多言語版おくすり手帳は、外国人市民が安心して医療を受けられる仕組みをつくること目的に、薬の記録と共に医療および災害時にやくだつ情報を記入するページを充実させたおくすり手帳です。2017年6月に発行した第1版（中国語、韓国語、英語、やさしい日本語）からはじまり、第2版（スペイン語、ベトナム語、英語、やさしい日本語）、第3版（中国語、フィリピン語、英語、やさしい日本語）と作製を重ね、今回第4版となるウクライナ語版を発行することになりました。このプロジェクトは、「高齢者向けの横浜発オリジナルおくすり手帳」を手がけていた株式会社大川印刷と、豊かな社会づくりと多文化共生を目指す共生のまちづくりネットワークよこはまと、外国人向けの不動産事業を手がけるジャパンハウジング株式会社の3者協働プロジェクトとして運営しています。



第1弾「わたしのおくすり手帳」言語：中国語 韓国語 英語 やさしい日本語 販売価格 75 円（税込）

第2弾「わたしのおくすり手帳」言語：スペイン語 ベトナム語 英語 やさしい日本語 販売価格 100 円（税込）

第3弾「わたしのおくすり手帳」言語：フィリピン語 中国語 英語 やさしい日本語 販売価格 100 円（税込）

※第1弾は残りわずか。

【ウクライナ語版おくすり手帳の作製】

2023年10月末現在、日本に滞在しているウクライナ避難民は2,101人（法務省発表）に上ります。これまで多言語版おくすり手帳を作製してきた三者は、不安定な状況で日本滞在を余儀なくされているウクライナ避難民の方への支援をしたいと考え、【ウクライナ語版おくすり手帳の作成による避難民支援】プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトが令和5年（2023年）7月に横浜市多文化共生市民活動支援補助事業に採択され、11月にウクライナ語版3,500部が完成しました。

※2023年11月10日に3,000部と発表いたしました。正式には3,500部でした。お詫びして訂正させていただきます。

今回のウクライナ語版の特徴は下記の2点です。

1. 身分証となるパスポートと一緒に持ち歩いてもらうことを考え、日本のおくすり手帳より小ぶりなパスポートサイズで作製しました。
2. 第3弾まではやさしい日本語を含む4言語で作製してきましたが、ウクライナ語版は、やさしい日本語とウクライナ語の2言語とし、レイアウト自体を刷新。ウクライナ国旗のブルーとイエローの2色でデザインしています。

【全国への配布】

今後、共生のまちづくりネットワークよこはまは、各都道府県のウクライナ支援担当部署を通して、全国のウクライナ避難民の方々にこの多言語版おくすり手帳ウクライナ語版を配布します。各市町村の窓口のご担当で、ぜひ地域のウクライナ避難民に配布したいという方は、共生のまちづくりネットワークよこはままで、お知らせ下さい。

